

JIMGAnews

第52号

目次

2019年度 第1回部門理事会・評議員会合同会議の開催	1
2019年度 定時総会の開催	1
2019年 JIMGA 表彰受賞者一覧 <産業ガス部門>	2
2019年 JIMGA 表彰受賞者一覧 <医療ガス部門>	3
会員紹介 一中・四国エア・ウォーター株式会社 備前営業所・備前工場	4
ISO TC220「超低温貯槽」年次会議—パリ会議—参加報告	5
新事務局員の紹介	7

セミナーのご案内 (2019年7月～8月)

開催日	内容	開催場所
7月25日(木) (13:00～)	JIMGA東海『産業ガス保安セミナー』 テーマ 1. 高圧ガス保安に関する法令等改正についての解説 2. 高圧ガス販売事業所自己診断指針第2刷 3. リスクアセスメント(入門編)の解説 / SDSの改訂 (主催:東海地域本部)	ウインクあいち (愛知県名古屋市)
8月29日(木) (13:00～)	JIMGA保安セミナー テーマ 1. 安全統計資料 ヒヤリハット・事故事例から学ぶ保安 2. CE設置事業所・ローリー運行事業所関連基準 3. CE付属品の取扱い(液面計編+真空付属品編) (主催:四国地域本部)	ホテルパールガーデン (香川県高松市)

※詳細は地域本部までお問い合わせください。

2019年度 第1回部門理事会・評議員会合同会議の開催

5月28日、経団連会館にて2019年度第1回産業ガス部門理事会・評議員会合同会議を開催しました。

冒頭、今井会長より昨年度の活動内容や業界を取り巻く動向等について説明があり、その後、評議員および監事候補者の選任の件、2019年表彰対象者決定の件などすべての議題が全会一致で承認されました。

本会議の資料等は、JIMGAウェブサイトの産業ガス部門会員ページ＞会議の開催記録より閲覧できます。

2019年度 定時総会の開催

6月12日、経団連会館にて部門総会・定時総会を開催しました。午前には会長記者会見を開催し、9名の報道関係者に参加いただきました。質疑応答では、放置容器撲滅活動、MGR制度の拡充、ヘリウムの動向等、多数の質問がありました。

午後のJIMGA総会セミナーは、矢原副会長（技術・保安部会長）の挨拶で開会され、①「消費税軽減税率制度の説明」、②「再生可能エネルギー固定価格買取制度の現状」、③「医療ガスの安全管理（96通知）について」の3テーマを約160名の方々が聴講されました。

部門総会・定時総会は今井会長挨拶の後、部門総会にて各部門の評議員候補者が承認され、定時総会にて事業報告および収支決算、事業計画および予算（案）、定款の変更、ならびに評議員・監事選任の件が承認されました。表彰式では、当協会の活動に大きく貢献した個人および組織に対し、会長賞・功労賞・安全賞の表彰が行われ、今井会長より受賞者の皆様へ表彰状および記念品が授与されました。受賞者一覧はP2～3をご覧ください。

懇親会には約300名の方々が参加されました。今井会長は挨拶で「今年度より産業ガス部門と医療ガス部門の垣根を取り払う。また各地域本部の声も政策に反映し、本部、各部門、および地域との一体運営を推進する」と述べました。



記者会見の様子



受賞者の皆様

来賓のご挨拶は、厚生労働省の吉田医政局長、経済産業省の井上製造産業局長、高圧ガス保安協会の市川会長よりいただきました。永田副会長の乾杯の後、和やかに懇親会が進み、鈴木副会長が中締めを行いました。

（広報委員会事務局 石原 智子）

2019年JIMGA表彰受賞者一覧 <産業ガス部門>

賞区分	受賞者（敬称略）	表彰理由
災害 功労賞	四国大陽日酸株式会社 徳島営業所	2017年3月徳島県内の高校で発見された「長期放置されて極度に腐食した塩素容器2本」の処理に際し、計画時より参画。リスクアセスメントの実施等を通じて事故を未然に防ぐとともに、安全、迅速、適切に処理作業を行い、高圧ガスを取り扱う事業者として顕著な功績が認められる。
容器保安 功労賞	関東アセチレン工業株式会社	群馬県容器管理委員会設立当初からのメンバーとして活動。所有者不明容器の確認の場として自社敷地を提供したり、自社工場により44年に渡り高圧ガス容器の廃棄を実施したりするなどの貢献をしている。
地域活動 功労賞	手塚 悦男 (栃木共同アセチレン株式会社)	関東酸素工業会、JIGA、JIMGA時代を通じて保安活動、セミナー運営、技術資料作成等に携わり、関東地域の協会運営に貢献。千葉県、栃木県における高圧ガス保安活動にも尽力している。
安全賞	山形酸素株式会社	30年以上間無事故無災害を継続。JIMGA主催セミナーへの講師派遣など東北地域本部産業ガス・医療ガス両部門の活動に多大な貢献をする傍ら、関連保安団体の活動も積極的に行い地域の保安活動に大きく貢献している。
安全賞	協和ガス株式会社 阪南工場	33年間無事故無災害を継続。安全を第一に顧客への保安指導や周知文書の配布などを通じ顧客の信頼を得ている。また、社員のスキルアップや安全な作業現場の徹底にも継続して取り組んでいる。
安全賞	中・四国エア・ウォーター株式会社 香川工場	30年間無事故無災害を継続。安全衛生活動や朝礼での安全関連の注意喚起を通じ保安意識の高揚を図っている。また、10年以上におよぶ高校生のインターンシップ受け入れや顧客への保安教育活動を継続して実施している。
安全賞	九州工業ガス株式会社	35年間無事故無災害を継続。小集団活動による安全意識の高揚に始まり2002年には労働安全衛生マネジメントシステムを導入、リスク抽出による安全対策を継続実施している。



2019年JIMGA表彰受賞者一覧 <医療ガス部門>

賞区分	受賞者（敬称略）	表彰理由
標準化 功労賞	医療ガス製造・充填合同部会 容器表示指針改定WG 代表：鈴木義博 橋本孝二、若山義信、仲谷祐美 古賀孝之、藪本学、伊達恒夫	平成21年に制定された「医療ガス容器表示基準」に関し法令改正、監督官庁発出通知、事務連絡に対応すべく平成30年7月第3版、12月第4版と改訂版の基準化を図り、容器表示例をイラストで示し表示指針として明確な基準となる標準化に貢献した。
保安教育 功労賞	笠井 健 （北良株式会社）	長年にわたり東北地域本部において医療ガス部門の岩手支部長を務め、医療ガス安全講習会において平成17年より協会講師を務めている。さらに岩手県健康国保課講師に代わり薬機法関連の講師も務め、複数の社員も協会講師として派遣するなど保安教育活動に大きく貢献した。
災害 功労賞	四国地域本部医療ガス部門 香川県支部二酸化炭素製造及び 供給会社 代表：太田賀久（香川県支部長） 四国アセチレン工業(株)丸亀事業所 四国岩谷産業(株)坂出工場 中・四国IP・ウォーター(株)香川工場 四国大陽日酸(株)香川営業所 高松帝酸(株)高松事業所 高松帝酸(株)多度津営業所	香川県との「高病原性鳥インフルエンザ等の発生時における二酸化炭素の供給に関する申し合わせ」により平成30年1月10日に香川県東かがわ市で発生した四国で初となる鳥インフルエンザにおいて殺処分用二酸化炭素ポンペを夜間からの作業にもかかわらず速やかに納入し、ウイルスの拡散防止に貢献した。
安全賞	株式会社サイサン 医療ガス部 神奈川営業所	21年間無事故無違反を継続し、神奈川県の高圧ガス運送指導員および高圧ガス運送員講習会を所員全員が受講している。医療機関には、医療ガス保安講習会を実施し保安推進を行っている。
安全賞	株式会社上村産業	52年間無事故無災害を継続し、社員には保安教育計画書に基づき毎年実施し事故防止に努め、医療ガスについても勉強会を実施し医療従事者への教育を行っている。
安全賞	株式会社ババ	96年間無事故無災害を継続し、医療用酸素ガスの製造販売を行っており、遠隔監視システムを開発し医療ガスの安定供給、異常状況の把握により保安の確保に努めている。
安全賞	株式会社中岸商店	66年間無事故無災害を継続し、製造、販売を行い、社内安全教育を全社員で行っている。医療機関に対しては医療ガス安全講習会を実施し安全教育にも熱心に取り組んでいる。
安全賞	株式会社山国商会	39年間無事故無災害を継続し、医療ガス充填架台への非常用電源接続等、大規模災害に備えたユニークな活動を行い、代表者自ら率先して保安教育を推進するなど、地域の保安活動の範となっている。

会員紹介 —中・四国エア・ウォーター株式会社 備前営業所・備前工場—

沿革

中・四国エア・ウォーター株式会社 備前営業所および備前工場(旧岡山東・ウォーター(株))は、昭和46年12月10日にエア・ウォーター(株)(旧大同酸素(株))の関係会社として資本金2,000万円で創立されました。

当初は酸素充填工場およびプロピレンの充填のみでしたが、昭和47年9月にプロパン充填、昭和49年9月にエチレン充填を開始しました。

昭和53年10月には医療用酸素の製造許可を取得し医療酸素の充填を開始、更に昭和56年4月からはアルゴン、窒素および各種混合ガスの充填を開始し、現在の充填工場の形態が整いました。昭和59年10月からは岡山東・ウォーター(株)の特色である一般高圧ガス容器再検査を開始しました。



液化窒素および液化アルゴンのCE

組織変化としては、平成22年5月に岡山酸素(株)を子会社化、平成28年10月に中・四国エア・ウォーター(株)に営業部門を移管し備前営業所となりました。平成31年1月には岡山東・ウォーター(株)を廃止し、中・四国エア・ウォーター(株)備前工場となりました。

備前工場

備前営業所を含めた備前工場の敷地は11.5千㎡と大変広く、自然環境にも恵まれた場所にあります。設備自体も大きく、特に酸素CEは18,000Lであり、ユーザーからの注文に対し、安定供給に務めています。窒素、アルゴン、炭酸に関しては10,000LのCEを有しています。

この貯蔵設備と充填設備により、主に地域販売店を通じて岡山県下に広くガスを供給しています。

保安

会社創立当初から安全管理・法令遵守を徹底すべく、労働基準協会が実施する講習会に積極的に参加し、常に新しい安全基準、法令に対処してまいりました。また、事故発生を想定した防災訓練や地震訓練なども実施し安全体制を整えてきました。

今後も安定供給・安全管理を徹底して、地域に信頼される企業を目指してまいります。



構内の様子



配送用トラック

(中・四国エア・ウォーター株式会社 取締役岡山支店長 谷口 宏治)

ISO TC220「超低温貯槽」年次会議—パリ会議—参加報告

2019年6月4日~5日の日程で、ISO（国際標準化機構）TC（技術会議）220「超低温貯槽」の年次会議がパリで開催されました。

前の週から始まったテニスの全仏オープン（錦織もベスト8でした）や、次週から開催される女子サッカーワールドカップの影響もあり、パリ市内はスポーツ観戦客と早い夏休みに入った観光客が多く、どこのイベント会場も長蛇の列ができていました。



スタッド・ド・フランス競技場近くの
AFNORオフィス

本会議の会場となったAFNOR（フランス規格協会）のオフィスビルはサン・ドニ地区にあり、2015年11月13日にオランダ仏大統領もサッカーの独仏戦を観戦していた「スタッド・ド・フランス競技場」の近傍で起こったテロ現場のすぐ手前にあります。昨年頻繁に発生していたイエローベストによるデモの心配をしていますが、スタジアム周辺では、ワールドカップ女子サッカーのチケット販売員が路上にいるくらいで、忙しい中にも普段着のパリに出会うことができました。

参加国は、アメリカ（4名）、ドイツ（6名）、フランス（8名）、そして日本（2名：細谷WG長、羽坂）とエキスパート12か国中、4か国が参加しました。

WG1会議

初日のWG1（設計と製作）会議では、前回来議議事録の確認の後、ISO/FDIS 20421-1「大型可搬式真空断熱容器—Part1 設計、加工、検査及び試験」の投票結果の報告があり、現在改訂作業中のISO/WD 21009-1「定置式貯槽—Part1 設計、加工、検査及び試験」へのコメントの解決が行われました。

コメントは全参加国より提出され、特にドイツから出された57件のコメントに対し、解決策を議論しましたが、予定の時間内では終了せず、30件のコメントの解決が残ったため、9月23日に電話会議が開催されることとなりました。



会議の様子

WG3会議

午後開催されたWG3（性能と附属品）では、現在原案作成中のISO/DIS 21014「低温貯槽の断熱性能」について、各国から出された33件のコメントの解決を行いました。次回の年次会議で最終確認が行われることになりました。

全体会議

2日目は全体会議が行われました。議事次第の確認の後、前回のパリ会議報告とその議事録が承認され、活動中のISO文書の進捗と戦略テーマについて報告がありました。

その後、WG1、WG2（作業）、およびWG3の各WG長より、進捗報告と遅延テーマに関する報告と優先順位の議論が行われました。

WG2では、「貯槽用LNGタンクの操作」についてタスクフォース会議が9月にヒューストンで開催され、またWG3（性能と附属品）では、「移充填ホース」について他のTCと議論を開始することとなりました。リエゾンレポートでは、他のTCの活動やEIGAの活動について報告がされました。

来年のTC220年次会議は、6月6日~8日にアメリカのワシントンDCで開催されます。

(技術・保安部会 超低温貯槽WG 事務局 羽坂 智)



新事務局員の紹介



名 前：高石 亮太郎（たかいし りょうたろう）

現住所：福岡市 早良区

生年月：1958年 7月

略 歴：1983年 4月 大陽酸素(株)（現大陽日酸(株)）入社
2004年10月 大陽日酸(株) 九州支社
2011年 6月 (株)大阪パッケージガスセンター
2014年 6月 広島エルピーガスターミナル(株)
2019年 5月 JIMGA九州地域本部 事務局長

趣 味：トレッキング。関西トレイル、広島南アルプス
など休日に低山縦走しておりました。
地元九州も名山が多く、稜線歩きや縄文杉との
再会が楽しみです。



抱 負：九州地域本部は、JIMGA業務から九州高圧ガス
容器管理委員会、KHK受託業務など未経験な仕事もあり、一からのスタートになりま
すが、地域貢献を目指して一日でも早く皆様のお力になれるよう努力してまいりま
すので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。